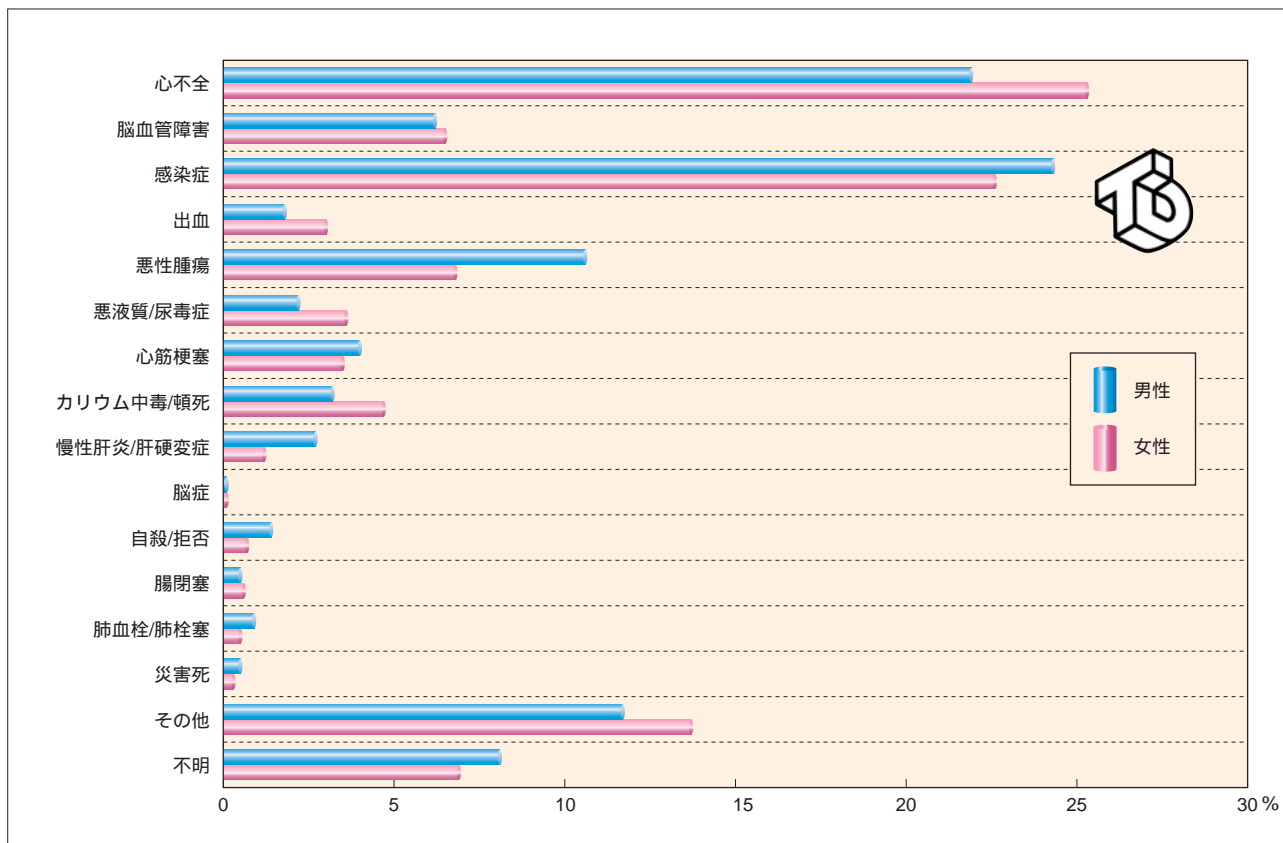


5) 死亡原因

(1) 導入患者の死亡原因分類 (図表16)



死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
心不全	385	281	666	2	668
(%)	(21.9)	(25.3)	(23.2)	(50.0)	(23.3)
脳血管障害	108	72	180	2	182
(%)	(6.2)	(6.5)	(6.3)	(50.0)	(6.3)
感染症	427	251	678		678
(%)	(24.3)	(22.6)	(23.7)		(23.6)
出血	32	33	65		65
(%)	(1.8)	(3.0)	(2.3)		(2.3)
悪性腫瘍	186	75	261		261
(%)	(10.6)	(6.8)	(9.1)		(9.1)
悪液質/尿毒症	39	40	79		79
(%)	(2.2)	(3.6)	(2.8)		(2.8)
心筋梗塞	71	39	110		110
(%)	(4.0)	(3.5)	(3.8)		(3.8)
カリウム中毒/頓死	56	52	108		108
(%)	(3.2)	(4.7)	(3.8)		(3.8)
慢性肝炎/肝硬変症	48	13	61		61
(%)	(2.7)	(1.2)	(2.1)		(2.1)

死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
脳症	1	1	2		2
(%)	(0.1)	(0.1)	(0.1)		(0.1)
自殺/拒否	24	8	32		32
(%)	(1.4)	(0.7)	(1.1)		(1.1)
腸閉塞	8	7	15		15
(%)	(0.5)	(0.6)	(0.5)		(0.5)
肺血栓/肺栓塞	15	6	21		21
(%)	(0.9)	(0.5)	(0.7)		(0.7)
災害死	8	3	11		11
(%)	(0.5)	(0.3)	(0.4)		(0.4)
その他	205	152	357		357
(%)	(11.7)	(13.7)	(12.5)		(12.4)
不明	143	77	220		220
(%)	(8.1)	(6.9)	(7.7)		(7.7)
合計	1,756	1,110	2,866	4	2,870
(%)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
記載なし	17	12	29	1	30
総計	1,773	1,122	2,895	5	2,900

数値下のカッコ内は列方向の合計に対する%です。

解説

導入患者の死亡原因分類

2004年の導入患者の死亡原因を性別により検討してみます。昨年度から死亡原因のコードを従来のものから国際疾病分類第10回修正版 (ICD-10) によるコード番号に変更しました。死亡原因の年度比較では注意することが必要になります。男性では感染症(24.3%)、心不全(21.9%)、悪性腫瘍(10.6%)の順であり、女性では心不全(25.3%)、感染症(22.6%)、悪性腫瘍(6.8%)と男女で順位と比率は若干異なります。導入期全体の死亡原因として感染症の比率が初めて第1位になりました。